

感謝の気持ちを伝えよう

～プレゼントのくびかざりを作ろう～

平成 30 年 6 月 28 日

本単元で育成する資質・能力

1 単元について

単元観

本単元は、特別支援学校学習指導要領（平成 21 年）小学部 算数 2 内容 ○2 段階 の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

2 段階 (2) 身近にあるものの長さやかさを比較する。

C (1) ア (ア) 長さの単位（ミリメートル，センチメートル，メートル）及びかさの単位について知り，測定の意味を理解すること。

イ (ア) 身の回りのものの特徴に着目し，目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり，比べたりすること。

本単元では，自立活動の「感謝の気持ちを伝えよう」の学習と横断的に実施する。「プレゼントのくびかざりを作ろう」という課題を解決するために，算数科で長さを比較したり測定したりすることを学ぶ。くびかざりの見本を比べて長さを感覚的に判断したり，直接比較や間接比較，ものさしで測定するなどの活動を通して，一端を揃えてまっすぐに伸ばすことを理解したり，長さをセンチメートルなどの単位を用いて測定することで，長さについてそれぞれの児童の技能を高め，理解を深めていきたい。

児童観	児童の実態
第 2 学年 A	<ul style="list-style-type: none"> 長いー短いを弁別できる。同じを「あいこ」「引き分け」と表現している。 直接比較はできるが，間接比較ではブロックなどの並べ方がずれたり，マスの数え間違いをしたりすることがある。 ものさしを使って長さを測ることは未習である。 見通しが立たないと不安を感じ，不安定になることがある。 いろいろな言葉を知っているが，正しく理解できていない言葉もある。 せっかちで，ゆっくりした友達のペースを待つことができにくい。
第 5 学年 B	<ul style="list-style-type: none"> 長いー短いー同じを弁別できる。 直接比較の際には端を揃えてまっすぐに伸ばすことを理解し，実践できる。 ものさしを使って長さを測ることができる。(cm, mm) 不器用さがあるので，長さをかくときには定規がずれやすく直線がかきにくい。 1 cm=10 mmなどの単位の換算は，時間がたつと忘れるが，繰り返すと，思い出してできる。 長さの加法はできるが，減法はくり下がり計算で誤答がある。 活動に取り組むのがマイペースで，自分なりに納得するのに時間がかかる。
第 6 学年 C	<ul style="list-style-type: none"> 色や形の弁別はできる時もあるが，不安定である。 同じ色のシール等であれば，大小の弁別はできる。 多いー少ない，重いー軽い，長いー短い，など量の関係の判断は難しい。 50 ピースのパズルを楽しんですることができる。絵や色ではなく，形をもとに当てはめている。 文字や数は，ほぼ理解出来ず，コミュニケーションがうまくとりにくい。 指導者と一緒に活動をすることができる。

指導観

特に本時の指導にあたっては、まず、活動の見通しを持たせ、安心して学習に取り組むことができるようにしたい。次に自力解決の場面では、問題把握が的確に行えるようにするとともに、長さを比べる際のキーワードが定着するようにパターン化したり、用具や数え方を児童ができることを使ったりして正しく測定できるようにする。そのために次の3つの手立てを講じる。

- ① 絵を掲示し、視覚的に問題が把握できるようにする。
- ② 活動の見通しを持たせるために写真カード文字カードを掲示する。
- ③ 間接比較やものさしでは、数えやすいように、シールを貼ったり、色分けしたりする。

2 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
○ 長さについて関心を持ち、2つまたは3つ直接比較の様々な活動に進んで取り組むことができる。	○ 相対的な量の比較では、長い-短いの関係は絶対的なものではなく、相対的なものであることが分かる。	○ 長さの単位 (cm) について知り、測定の意味を理解する。	○ 長さを測定するときの基礎として、一端を揃えるということを具体物を比べることを通して理解する。

3 単元計画 (全3時間)

次	学習活動	教科の評価規準 (評価方法)	資質・能力の評価 基準 (評価方法)
---	------	-------------------	-----------------------

単 元 前	【算数科】 長さ比べ。直接比較、間接比較 (A B児) 長い方を選ぶ。(C児) 関連づける教科【自立活動】 プレゼントを作ろう。		
-------------	---	--	--

一	<p>課題の設定</p> <p>プレゼントのくびかざりを作ろう。</p> <p>情報の収集・整理・分析</p> <p>ぴったりの長さのくびかざりの長さを調べよう。(1)【本時】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計りたいものの「はしをそろえる」「まっすぐ」にして直接比較をすることができる。マス目ものさしで長さを測ることができる。(A児) ・ ものさしで正しく長さを測ることができる。(B児) ・ 長さに合わせてぼうを並べようとする。(C児) 	
二	<p>実行</p> <p>写し取った長さや測った長さをもとに、くびかざりを作ろう。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ もとにする長さと比較しながら色の並び方に気をつけてくびかざりを作ることができる。(A児・B児) ・ 色の並び方を工夫してくびかざりを作ることができる。(C児) 	

三	まとめ・創造・表現・ふりかえり 作ったくびかざりの長さ確かめよう。 (1) 直接比較・ものさし	<ul style="list-style-type: none"> ・ マス目ものさしで長さを測ることができる。(A児) ・ ものさしで正しく長さを測ることができる。(B児) ・ 直接比較の活動を通して「長い」「短い」「同じ」を実感することができる。(C児)
---	---	---

単元後	ふりかえり 【算数科】 身近なものの長さをものさしで測ろう。 【自立活動】 感謝の気持ちを伝え、くびかざりをわたそう。
-----	--

4 本時の展開

(1) 本時の目標

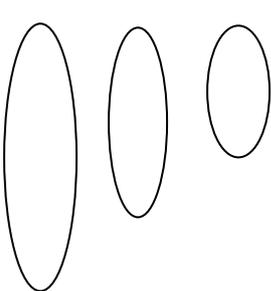
第2学年 A	計りたいものの「はしをそろえる」「まっすぐ」にして直接比較をすることができる。 マス目ものさしで長さを測ることができる。
第5学年 B	ものさしで正しく長さを測ることができる。
第6学年 C	指でなぞって長さを実感することができる。 長さに合わせてぼうを並べようとする。

準備物 見本用くびかざり (3種類), ものさし (マス目, 1m, 30cm) 10cm棒, 言葉カード, 絵カード,

(2) 本時の展開 (別紙)

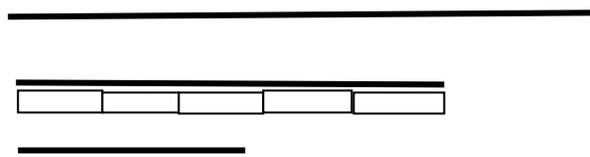
5 板書計画

(め) ちょうどよいくびかざりのながさをしらべよう。



はしをそろえる

まっすぐ



(ま) ちょうどよいくびかざりのながさはセンチメートルで、ぼう5ほんぶんだった。